社会科研究授業指導案

実　施　日　平成２２年６月９日
授業クラス　１年４組
授　業　者　池　下　　誠

１　単元名　　オセアニアの地域的特色
－多文化主義のオーストラリアを中心に－

２　単元設定の理由

平成２０年７月に出された中学校社会科地理的分野の学習指導要領の解説書には、持続可能な開発のための教育の内容が初めて記述された。持続可能な開発のための教育は、「地域」で起きている問題や課題を見いだすことから、「地域」を学習対象とする地理教育と重なる部分が多い。すなわち、地理の学習において、地域で起きている問題や課題を見いだし、それをどのように解決したらよいかを考える指導を行うことと、この教育の趣旨とが重なる部分が多い。

イギリス連邦に属するオーストラリアは、１９０１年からヨーロッパなどの白人を優遇し、その他の民族の移民を差別する白豪主義という政策を行ってきた。しかし、地理的に遠いイギリスなどのヨーロッパよりも地理的に近いアジアとの関係が深くなるにつれ、１９７３年に白豪主義をやめ、様々な民族やその民族がもつ文化を尊重する多文化主義政策がとられるようになった。多文化主義を学習することは、持続可能な開発のための教育の趣旨とも合致する。そこで、上記の主題で、本単元を取り上げることとする。

３　単元の指導目標　新学習指導要領…(1)ウ(カ)

①　オセアニアの地域的特色を主体的にとらえようとすることができる。
②　オセアニアの地域的特色を移民政策を中心に考えることができる。
③　オセアニアの地域的特色を地図や資料などからとらえることができる。
④　オセアニアの地域的特色を理解することができる。

４　単元の指導計画

１時間　　オセアニアの位置と自然環境
２時間　　オーストラリアの農牧業
３時間　　オーストラリアの工業と貿易
４時間　　オーストラリアの移民政策の変遷（本時　）
５時間　　オーストラリアの観光

５　単元の評価

①　オセアニアの地域的特色を主体的にとらえようとすることができたか。（関心・意欲・態度）
②　オセアニアの地域的特色を移民政策を中心に考えることができたか。（思考・判断）
③　オセアニアの地域的特色を地図や資料などからとらえることができたか。（資料活用の技能）
④　オセアニアの地域的特色を理解することができたか。（知識・理解）

６　授業改善のポイント

(1) 地理的分野の学習においては地図や統計資料などから地域の特色をとらえることが、生徒の地理的な見方・考え方や読解力を育成することになると考える。そこで、地図などの資料を中心にワークシートを使って、目標・指導・評価の一体化を図る指導を行う。
(2) 文部科学省の「言語力の育成に関する答申」によると、社会科では法則性や概念を基に社会的事象を説明すること、価値判断したり、意思決定したりする際に論拠を明確にすることなど、論理的思考や批判的思考の育成が必要であることが示されている。そこで、様々な資料を吟味し、批判的にとらえることができるよう努める。

７　本時の授業

(1)本時のねらい

①ワークシートの課題に主体的に取り組むことができる。
②地図などの資料を通して、オーストラリアの移民政策の変遷をとらえることができる。
③オーストラリアの多文化主義政策について、自分なりに考えることができる。

(2)本時の展開

	学習内容	教師の働きかけ	生徒の反応	指導上の留意点(評価)
導入 ５分	・本時のねらいの確認	・ワークシートのねらいを読んで、色ペンで着色するよう指示する。	・ワークシートのねらいを確認し、色ペンで着色する。	・ワークシートに書かれているねらいを確認しているか。(関心)
		・ALT の先生の名前と国籍を聞く。	・ロバート先生。 ・オーストラリア	・ロバート先生であることと、またオーストラリア人であることにきづかせる。
	・練馬区の海外派遣	・練馬区の海外派遣が来年と再来年にあり、行くことができる。	・自分たちも海外派遣でオーストラリアに行けることに興味をもつ。	・海外派遣との関連でオーストラリアの人々に興味・関心をもたせる。(関心)
	・オーストラリアの民族	・オーストラリアのホームステイ先の家庭がみどのような人々か、みてのみよう。	・白人の家庭が多い。	・白人の家庭が多いことにきづかせる。(資料)
		・オーストラリアの国旗がイギリスの国旗に似ている理由を考えさせる。	・オーストラリアはイギリスと関係が深い。	・オーストラリアとイギリスとの関係が深いことに気づかせる。(思考)

展開 30分	・オーストラリアの移民政策の変遷	・オーストラリアの移民政策の変遷をとらえさせる。 ・移民の資料から、移民の人数や理由を考えさせる。 ・移民のグラフをみて、移民がどのように変化したのかをとらえさせる。 ・ヨーロッパからの移民が減ったのはなぜかを考えさせる。	・オーストラリアの移民政策は、ヨーロッパ大陸から、アジアに移民が増えた。 ・イギリスを中心とした国々からの移民が減り、アジアからの移民が増えている。 ・貿易相手国の変化をのべ、貿易額が増加している。	・オーストラリアの移民政策は、ヨーロッパ大陸から、アジアに移民が増えているか。(資料) ・イギリスを中心とした国々からの移民が減り、アジアからの移民が増えているか。(資料) ・貿易相手国がイギリス諸国から、ヨーロッパ諸国に増えているか。(資料)
まとめ 15分	・多文化主義	・多文化主義とはどのようなことか考えさせる。 ・多文化主義について自分の考えをまとめる。	・白豪主義から、多文化主義に移行した。 ・多文化主義について自分なりの考えを書く。	・多文化主義に関する文章を読んでいるか。(関心) ・多文化主義に関して自分の考えを書いているか。(思考)

8　ワークシート例

4.オーストラリアの移民政策

1年(　)組(　)番(　　)

ねらい：①オーストラリアの移民政策の推移をとらえる。
②オーストラリアの多文化主義について考える。

1．下の３つの国旗はどのような共通点があるか、簡単に説明しましょう。

オーストラリア　　ニュージーランド　　イギリス

2．右の写真は一般的なオーストラリア人です。オーストラリアは、どんな人が多いか、書きましょう。

1．オーストラリアの移民政策

1．右の地図をみて、オーストラリアではどんな変化があったか簡単に説明しよう。

オースラリアの移民の変遷を示す主題図

2．右の資料をみて、オーストラリアでは、移民の受け入れがどのように変化したか簡単に説明しましょう。

オースラリアの移民の変遷を示すグラフ

3．多文化主義政策とはどのようなことか簡単に説明しましょう。

4．オーストラリアの多文化主義政策について、どのように考えるか、自分の考えをまとめよう。

・ワークシートに主体的に取り組むことができたか。(A　B　C　D) ・オーストラリアの移民政策の推移をとらえることができたか。(A　B　C　D) ・オーストラリアの多文化主義について考えることができたか。(A　B　C　D)	感想

9　授業を終えて

本時の授業は、主題図や表などの資料からオーストラリアの移民政策をとらえる、というものであった。使用した資料の難易度が中学１年では高いものであったため、オーストラリアの移民の変遷をとらえられるか懸念された。しかし、学習に対する関心や意欲の高い生徒が多かったため、予想以上に、多くの生徒が資料を読み取っていた。また、英連邦に属しイギリスとの関係が深かったオーストラリアが、距離的に近い日本や中国などのアジアとの関係が深くなるにつれ、白豪主義から多文化主義に移行したことをとらえさせることができた。ＥＳＤ（持続可能な開発のための教育）の趣旨の中に、「人権」への意識を高めることがある。オーストラリアが白豪主義から多文化主義へ移行したことは、オーストラリア人の人権に対する意識が高まったといえる。したがって、オーストラリアの移民政策の転換を学習することを通して、人種や民族にとらわれない多文化主義の考え方の大切さに共感した生徒が多くいた。したがって、本時の授業を通して、ＥＳＤの考え方を高めることができた。